

第 28 回医療薬学公開シンポジウム開催報告

広島大学病院薬剤部
木平 健治

平成 19 年 9 月 15 日(土)に、広島県薬剤師會館(広島県広島市)において日本医療薬学会主催、広島県病院薬剤師会共催で「第 28 回医療薬学公開シンポジウム」を開催致しました。当日は、広島県内のみならず、遠方からも参加を頂き、110 名が討論に参加していただきました。平成 22 年から 6 年制薬学生の長期実務実習が始まりますが、これまで実習への各施設の対応など様々な角度から議論されてきたように思います。今回はもう一步踏み込んで、薬学生への実習内容、また既卒者への卒後教育までを網羅する内容とするために、メインテーマを「患者のための薬学・薬剤師教育 ー 接遇から医療安全まで・患者と向き合える薬剤師の育成を目指してー」と致しました。

まず、基調講演としまして日本病院薬剤師会の立場から兵庫医科大学病院・薬剤部長 門林宗男先生に講演して頂きました。日病薬としての 3 つの取り組みについてお話されました。一つ目は「病院における薬剤師の業務・人員配置について」、二つ目は「薬剤師の生涯教育の充実・専門、認定薬剤師の確立について」、そして最後に「薬学長期実務実習への取り組み」についてです。いずれも早急に取り組みねばならない問題であり、日病薬としてではなく我々の身近な課題として解決に向けて活動する必要を痛感いたしました。

続いて、講演の前半のテーマとして「PBL 教育・実務実習へ向けての取り組み」として名城大学薬学部 伊藤達雄先生、愛媛大学医学部附属病院薬剤部 荒木博陽先生に講演して頂きました。まず、伊藤先生は学部学生への教育技法としての PBL 導入の効果についてお話されました。学生が主体となる学習方法が臨床現場での問題解決能力養成に大きく役立つことを強調されていました。荒木先生も同様に学生参加型の教育の重要性についてお話になり、臨床現場での学生主体の学習法を紹介されました。学部と現場での有効な学習方法とは学生が主体となり、様々な場面で意見を出し合い、討論を重ねていくことであるという点で一致していると思われ、この点においても学部と現場のより密接な連携が必要であると感じました。

後半は「医療現場における実践教育:接遇から安全管理まで」として現場の 3 人の先生方に講演して頂きました。まず、大阪労災病院の前田頼伸先生から薬剤業務の質的向上を目指した取り組みについて紹介して頂きました。大学と現場の連携とは単に学生実習を円滑に推進していくためのものではなく、医療現場で遭遇する問題点を解決するために大学と現場で共同研究を行い、それを医療現場にフィードバックするというシステム構築が質的向上に直結し、即ち、患者の視点に立った安全な医療提供に繋がっていくということを力説されました。公立那賀病院の三木康弘先生は院内の与薬業務における安全管理に対する取り組みについてお話頂きました。安全管理上、最上となる与薬方法を様々な職種の方と試行錯誤を重ね、検討されているとのことでした。結論は得られていないものの患者の安全を第一に考えた薬剤業務を構築していくことの重要性を強調されました。最後に高知大学医学附属病院 市原和彦先生から、医療現場における薬剤師教育について薬剤部での取り組みを紹介して頂きました。医療とは患者を中心としたチーム医療が支えているものであり、このチームに参加することなしに参加型実習は成立しない、即ち他の職種の方の理解を得て、病院全体として事前準備が必要であることをまずお話になりました。また、院内では様々な部門で IT 化が進んでおり、過誤のない医療シ

システムを構築してきたが、安全管理は最終的には人間が行うものであるというお考えも披露されました。

以上、本シンポジウムの講演内容の概略を報告いたしましたが、いずれの講演も具体的なお話であり、参加者の学生教育・薬剤師教育に対するモチベーションは確実に上昇したと思います。また、教育現場と医療現場の連携の活性化、長期実務実習に向けた準備の一助に繋がったものと思われま

第 28 回医療薬学公開シンポジウム・プログラム

1. メインテーマ 患者のための薬学・薬剤師教育
ー 接遇から医療安全まで・患者と向き合える薬剤師の育成を目指してー

2. 日時 2007. 9. 15(土)

3. 場所 広島県薬剤師會館
730-8601 広島市中区富士見町 11-42
Tel: 082-243-2151 Fax: 082-243-2152

4. 参加費 500 円

5. プログラム

13:25~13:30 開会の辞 木平 健治
座長 名城大学薬学部 鍋島 俊隆
姫路獨協大学薬学部 奥村 勝彦

基調講演「患者に求められている薬剤師とその育成ー 一日病薬の取り組み」
13:30~13:50 兵庫医科大学病院 門林 宗男

テーマ①「PBL 教育・実務実習へむけての取り組み」

13:50~14:15 名城大学薬学部 伊藤 達雄
14:15~14:40 愛媛大学医学部附属病院薬剤部 荒木 博陽

テーマ②「医療現場における実践教育:接遇から安全管理まで」

14:50~15:15 大阪労災病院 前田 頼伸
15:15~15:40 公立那賀病院 三木 康弘
15:40~16:05 高知大学医学部附属病院 市原 和彦
16:15~ 総合討論会
17:00~ 閉会の辞 木平 健治

6. 参加者 110 名

7. 日本医療薬学会認定薬剤師資格更新研修単位登録申請者 23 名

8. 日本薬剤師研修センター集合研修認定シール(2 単位)受領者 100 名